

中国語教育学会会報

第58号(通巻83号) 2020年9月7日発行

〒464-8601
愛知県名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院 人文学研究科
丸尾誠研究室内
中国語教育学会
Website <http://www.jacle.org/>
Email headoffice@jacle.org
郵便振替口座 00110-1-191152

目次

1. 第18回全国大会について
2. 2020年度第1回理事会報告
3. 2020年度会員総会報告
4. 『中国語教育』第19号の投稿募集について
5. 2020年度研究会開催報告
6. 事務局からのお知らせとお願い
 6. 1. 会員動向
 6. 2. 会費納入状況、会費納入のお願い
 6. 3. 退会および除籍について
 6. 4. 登録情報の変更について
 6. 5. 住所不明の会員
 6. 6. 第19回(2021年度)全国大会について(続報)

1. 第18回全国大会について

中国語教育学会第18回全国大会が2020年6月6日(土)および7日(日)の両日、オンラインで開催されました。

当初開催予定であった対面式の大会の中止に伴い、従来のような基調講演やシンポジウムなどは行われず、初日午後には第1回理事会が開催されました(第1回編集委員会は事前にメール会議で開催済み)。この理事会と一部時間が重なる形で、参加者向けに、慶應義塾大学名誉教授の関根謙氏による模擬授業「中国語中級テキスト『文学の窓』を使用した模擬授業」が行われました。その後、会員総会に続き、参加者が気楽に語り合える機会を設けるという趣旨で談話会「遠隔授業について話そう!」が開催されました。2日目は6つの分科会に分かれ、午前午後合わせて16本の口頭発表が行われました。質疑応答の際には、質問をZoomのチャット欄に書き込んでもらい、それを元に司会が報告者に伝えるという形で、活発な議論が交わされました。夕方からはアフターセッションとして、伊藤大輔氏(目白大学)、清原文代氏(大阪府立大学)、阿部慎太郎氏(近畿大学)、氷野善寛氏(目白大学)、紅粉芳恵氏(大阪産業大学)の5人の講師による特別企画「明日からの遠隔授業で使える小ネタ」が

開催されました。当日のプログラムの詳細については Web ページ (<http://www.jacle.org/annual18/>) をご覧ください。

今回の大会には308名の方に参加していただきました。また11社（会員9社、非会員2社）に書店・出版社企画（Zoom相談会・情報掲載）に参加していただきました。発表者、司会者の方々、参加してくださった会員の皆様、そして全国大会の準備にご尽力くださった第18回全国大会準備委員会の先生方に厚く御礼申し上げます。

2. 2020年度第1回理事会報告

2.1. 日時・場所・出席者（敬称略）

日時：2020年6月6日（土）13:00～15:00

方式：Zoomを使用したWeb会議

出席者：丸尾誠、古川裕、三宅登之、山田眞一、阿部慎太郎、植村麻紀子、加藤晴子、清原文代（兼：全国大会準備委員会（2020年4月～2020年6月）委員長）、謝平、鈴木慶夏、西香織、氷野善寛、平井和之、藤井達也、安藤好恵（編集委員会委員長）、中田聡美（デジタルリソース委員会委員長）
勝川裕子（幹事）、趙宏剛（幹事）、望月雄介（幹事）

2.2. 報告事項

2.2.1. 2020年度～2021年度役員・事務局

2020年度～2021年度の本学会役員および事務局所在地が以下の通り内定し、会員総会に推挙されることが、丸尾会長より報告された。

(1-1) 役員

会長：丸尾誠

代表理事：古川裕、三宅登之、山田眞一

理事：阿部慎太郎、植村麻紀子、加藤晴子、清原文代、佐々木勲人、謝平、鈴木慶夏、西香織、氷野善寛、平井和之、藤井達也、村上公一

幹事：勝川裕子、趙宏剛、望月雄介

会計監査：日下部直美、塩山正純

(1-2) 事務局

[事務局] 〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院 人文学研究科
丸尾誠研究室内 中国語教育学会事務局
headoffice@jacle.org

[事務局事務代行] あゆみコーポレーション

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目4-8 日栄ビル703A あゆみコーポレーション内
support@jacle.org

2.2.2. 『中国語教育』第19号（2020年度）編集委員会

『中国語教育』第19号（2020年度）編集委員会の構成員が以下の通り決定したこと、および本理事会に先立つ編集委員会において安藤好恵委員が委員長に選出されたことが、丸尾会長より報告された。
安藤好恵（委員長）、阿部慎太郎、郭春貴、兪鳴蒙、長谷川賢、藤井達也、紅粉芳恵、安本真弓

2.2.3. 会員動向および会費納入状況

会員動向および会費納入状況は以下の通りである。

(1) 会員数（2020年5月15日現在）：計526名

（通常会員496名、名誉会員30名／個人会員507名、団体会員19名）

(2) 新入会者（2019年11月22日～2020年5月15日現在）：計17名（以下敬称略）

邵明明（首都師範大学）、劉時珍（一橋大学・非）、望月雄介（名古屋大学・院）、李怡寧（大阪大学・院／大連理工大学国際教育学院）、石一含（長崎国際大学・非）、王美蘭（福岡国際医療福祉大学）、曹泰和（明海大学）、馮日珍（日本女子大学・非）、佐藤直昭、田村加代子（名古屋大学）、関久美子（東京学芸大学・非）、山口千佳（東京学芸大学・非）、尾形幸子（法政大学・非）、西口智也（愛知文教大学）、欧丽贤（中国広州大学）、肖海娜（立命館大学）、王怡人（早稲田大学・院）

(3) 退会届け提出者（2019年11月22日～2020年5月15日現在）：計8名

(4) 会費納入状況（2020年5月15日現在）：1,045,000円

2.2.4. 研究会担当

研究会担当が以下の通り決定したことが報告された。なお、研究会は学会が開催する全国規模のものであり、東日本と西日本の担当者を分けたのは便宜的な配慮である。また、研究会の具体的な日程や内容については確定次第随時、Webに公開される予定である。

東日本担当：kanto@jacle.org

植村麻紀子（神田外語大学）、鈴木慶夏（神奈川大学）

西日本担当：kansai@jacle.org

阿部慎太郎（近畿大学）、謝平（福岡大学）

2.2.5. 2019年度決算報告

2019年度の決算は本会報p.11の通りである。

2.2.6. 2020年度第1回編集委員会報告

安藤委員長より、『中国語教育』第19号の編集スケジュールに関しては基本的に前年度を踏襲する予定であることが報告された。

2.2.7. デジタルリソース委員会報告

中田委員長より、学会Webサイトの更新作業および外部団体等からの掲載依頼の対応について報告がなされた。また、会員用メーリングリストへのメンバーの登録と削除、アドレスの変更作業に関し

て、現在不達メールが発生していることに鑑み、会員に対してWeb上で変更手続きを行うよう呼び掛けていくことが報告された。

2.2.8. 研究会開催報告および今後の研究会開催予定

鈴木理事より、2020年度第1回研究会がオンライン開催されたことが報告された。また、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、今後の研究会開催についても、オンライン開催となる可能性があることが報告された。

2.2.9. 第19回（2021年度）全国大会について

第19回（2021年度）全国大会開催校および大会準備委員会の構成員が以下の通り内定したこと、開催日程は2020年度第1回理事会開催時点で未定であることが、丸尾会長より報告された。

日程：未定

場所：関西外国語大学御殿山キャンパス・グローバルタウン

（〒573-1008 大阪府枚方市御殿山南町6-1）

大会準備委員会：中村俊弘（委員長）、吉田泰謙、相原里美、三輪雅人、王峰、関光世、紅粉芳恵、望月雄介（事務局幹事）

2.2.10. 2020年度第2回理事会開催日

2020年度第2回理事会の開催日および場所が以下の通り決定した。また、それに先立つ同日10:30～12:30に第2回編集委員会を開催予定である。

日時：2020年11月29日（日）13:30～16:30

場所：目白大学新宿キャンパス（東京都新宿区中落合4-31-1）

2.2.11. 対外交流の動きについて

2019年度第2回理事会以降から2020年度第1回理事会開催日までの対外交流について、学会誌の寄贈状況および現事務局への移行前に本学会が世界漢語教学学会を脱会した経緯が、丸尾会長より報告された。

2.3. 審議事項

2.3.1. 『中国語教育』第19号依頼原稿について

例年、学会誌は特集と論文という構成になっているものの、本年度の全国大会がオンライン開催となり、講演がなくなってしまったため、『中国語教育』第19号依頼原稿について、編集委員会安藤好恵委員長より「①大東文化大学の大会で当初、講演を依頼していた先生に寄稿をお願いします」「②新大会準備委員会に依頼して、Web大会について書いてもらう」という2つの案が提起された。提案①に関しては、安藤委員長が前大会準備委員会委員長である山口直人先生の承諾を得たうえで、講演予定であった先生に連絡を取るようになった。提案②に関する原稿の内容については、後日、編集委員会で再度議論することが決定された。

2.3.2. MLの管理体制について

デジタルリソース委員会中田聡美委員長より、現在におけるMLの管理体制が説明され、その後、運用方法見直し案が提示された。具体的には、「Web版会員名簿」の変更通知メールの仕様変更とML登録自動化プログラムの開発の2つの作業があり、前者をあゆみコーポレーションに、後者をプログラマーに依頼することを検討している旨が説明された。費用に関しては、メールの仕様変更が5万円（税抜き）、プログラムの開発が3万3千円（税込み）必要であるとともに、運用後もメンテナンスやバグの修正で費用が必要となる可能性もあるという説明がなされた。MLシステムの構築案と予算は審議の結果、承認された。

2.3.3. 名誉会員について

(1) 名誉会員候補者

丸尾会長より、名誉会員候補者に関して、2021年4月1日現在で条件を満たす会員が5名挙げられ、審議の結果、以下の5名が名誉会員として認められることが決定された。

内田慶市、須田美知子、曾根博隆、照井はるみ、水谷誠（敬称略）

(2) 内規の改定について

名誉会員の条件の1つとして継続在籍期間が「15年以上」となっているのを「20年以上」に変更することは、2019年度第1回理事会においてすでに決定事項となっていた。今回、名誉会員と顧問の委嘱に関する内規改定後の文言を確定するとともに、会員総会にて会員に周知することが決議された。

名誉会員と顧問の委嘱に関する内規（→第4条、第8条関連）

現行の内規	改定後
名誉会員は、年齢満70歳以上で、継続して15年以上本会会員であったものとする。なお、この規定は2017年4月1日より施行するものとする。	名誉会員は、年齢満70歳以上で、継続して <u>20</u> 年以上本会会員であったものとする。なお、この規定は <u>2022</u> 年4月1日より施行するものとする。
名誉会員は、本人からの申告または会員からの推挙をもとに、理事会が発議し、総会において決定する。	名誉会員は、本人からの申告または会員からの推挙をもとに、理事会が発議し、総会において決定する。
名誉会員の会費は免除する。	名誉会員の会費は免除する。

※2022年4月1日より、「改定後」の文言に差し替える。

2.3.4. 著作権規定について

丸尾会長より、著作権規定検討委員会の設置および設置に関する条件が説明され、審議の結果、原案通り承認された（下記参照）。また、著作権規定を作成する上でリーガルチェック等が必要なことか

ら、丸尾会長より、著作権規定検討委員会予算の説明がなされた。

著作権規定検討委員会の委員として、山田眞一理事、佐々木勲人理事、村上公一理事、田邊鉄先生が選出され、審議の結果、承認された。本委員会の委員は、今後必要に応じて人員を増やすことが可能であるということも了承された。委員長は、後日、委員の互選により選出することとなった。

「著作権規定検討委員会」

- (1) 本委員会の設置期間は2020年6月7日より2022年3月31日までとする。
- (2) 本委員会は以下の委員より構成される。
 - ・委員会設立時の理事より若干名
 - ・会長または本委員会委員長が必要と認めた会員若干名
- (3) 委員長は委員の互選により選出する。
- (4) 本委員会は必要に応じて外部の専門家の意見を聞いたり、参考資料を購入したりすることができる。その際の諸費用は学会から支出するものとする。

2.3.5. 2020年度予算案

本会報のp.12に掲載の「2020年度予算案」が承認された。

3. 2020年度会員総会報告

3.1. 日時・方式

日時：2020年6月6日（土）16:00～17:00

方式：Zoomを使用したWeb会議

議長：加藤晴子

3.2. 審議事項

3.2.1. 2020年度～2021年度役員

上記2.2.1.の案が審議にかけられ、承認された。

3.2.2. 2019年度決算報告

上記2.2.5.の決算報告が審議にかけられ、適切なものとして承認された。

3.2.3. 2020年度予算

上記2.3.5.の予算案が審議にかけられ、承認された。

3.2.4. 名誉会員の推薦

上記2.3.3.の(1)で推挙された内田慶市会員、須田美知子会員、曾根博隆会員、照井はるみ会員、水谷誠会員を名誉会員とする案が審議にかけられ、承認された。

3.3. 報告事項

3.3.1. 会員動向および会費納入状況

上記2.2.3.の内容が報告された。

3.3.2. 編集委員会報告

上記2.2.6.の内容が報告された。

3.3.3. デジタルリソース委員会報告

上記2.2.7.の内容が報告された。

3.3.4. 2020年度研究会

上記2.2.8.の内容が報告された。

3.3.5. 第19回（2021年度）全国大会

上記2.2.9.の内容が報告された。

3.3.6. 内規の改定

上記2.3.3.の（2）の内容が報告された。

3.3.7. 著作権規定検討委員会の設立

上記2.3.4.の内容が報告された。

4. 『中国語教育』第19号の投稿募集について

『中国語教育』第19号の投稿受付期間は、2020年10月1日0:00から10月21日正午（日本時間）までです。

投稿は2020年9月30日までに2020年度までのすべての会費を納付済みの中国語教育学会会員に限ります。

投稿原稿の印刷原稿1部を、郵送または宅配便により中国語教育学会事務局（〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院 人文学研究科 丸尾誠研究室）に送付してください。印刷原稿の提出期限は2020年10月21日（消印・受領印有効）とします。

あわせて印刷原稿と同じ内容のWordファイルおよび投稿票を『中国語教育』第19号編集委員会 contrib@jacle.org宛に10月21日正午（日本時間）までにメールの添付ファイルで提出してください。メールの遅配が生じた場合には、印刷原稿の消印・受付日によって判断します。

メール送信の際の件名と添付ファイルのファイル名は下記の通り指定されていますので、ご注意ください。

- ・メールの件名 (Subject) は「中国語教育投稿原稿20XX (「20XX」は投稿時の西暦年)」とする。
- ・添付する原稿ファイルのファイル名は「中国語教育投稿原稿[執筆者名].doc」または「中国語教育投稿原稿[執筆者名].docx」とする (原稿の題目をファイル名にしないこと)。
- ・添付する投稿票ファイルのファイル名は「subform.doc」から「中国語教育投稿票[執筆者名].doc」に変更すること。
- ・上記ファイル名中の[執筆者名]は、日本漢字、全角平仮名、全角片仮名、半角英字のいずれでも可。共著の場合は代表執筆者名とする。

近年、投稿規程や執筆要領に違反した投稿が増えています。投稿前には必ず最新の投稿規程と執筆要領を下記の学会Webページでご確認の上、学会が提供するテンプレートファイルを使用して原稿と投稿票を作成してお送りください。

<http://www.jacle.org/contribution/>

5. 2020年度研究会開催報告

中国語教育学会2020年度 第2回研究会 (西日本・東日本 合同主催)

日時：2020年8月29日 (土)

開催方法：Zoomオンライン

13:00 Zoom meeting オープン

13:20～13:30 趣旨説明

13:30～14:30 欧麗賢 (広州大学)「新型コロナウイルス長期化に向けた異文化コミュニケーション教育～インターネットを介したタンデム学習の可能性～」

14:40～15:40 杉江聡子 (札幌国際大学)「使える！中国語オンライン授業向けツール&Tips」

15:50～16:20 単艾婷 (西南学院大学)「レベル横断的読解テキストの設計と試行—現代小説を題材として—」

16:30～17:00 伊藤大輔 (目白大学)「オンラインで「試験」は可能か～2020年度春学期を振り返って」

参加者数：117名

6. 事務局からのお知らせとお願い

6.1. 会員動向 (敬称略)

6.1.1. 会員数

計 541 名 (通常会員 511 名、名誉会員 30 名 / 個人会員 522 名、団体会員 19 名)

※2020年9月1日現在

6.1.2. 新入会者

計16名

戸谷将義（愛知大学・院）、相原まり子（海上保安大学校）、野田寛達（明治大学）、横山昌子（神奈川県立横浜国立大学・非）、小山邦彦（株式会社イーオン中国語事業本部 ハオ中国語アカデミー）、閔佳祺（東京外国語大学・院）、中野くみ恵（埼玉県立戸田翔陽高等学校・非）、森中野枝（関西学院大学・非）、程天添（人材育成支援 E'GA）、曾睿（東北大学・非）、泉川友樹（日本国際貿易促進協会）、大江千晶（立教大学）、中川敬亭、徐勤（大阪大学・院）、李梓嫣（大阪大学・院）、蘇珏昀（京都大学・院）

※（2020年5月16日～2020年9月1日）

6.2. 会費納入状況、会費納入のお願い

現在1,760,000円 ※2020年9月1日現在

会費未納の方はお早めに納入くださるようお願い申し上げます。特に4月に郵送した払込取扱票記載の金額が15,000円の方は、2020年9月30日までに納入ください。2020年9月30日までに納入がない場合、会則第5条に基づき会員資格を失うこととなります。

また『中国語教育』第19号へのご投稿をお考えの方は、2020年9月30日までに2020年度までの会費を全て納入済みでないと投稿原稿が受理されませんのでご注意ください。

4月に郵送した払込取扱票を紛失された場合は、郵便局に備え付けの「払込取扱票」を使用して送金してください。

[口座記号－口座番号] 00110－1－191152 [加入者名] 中国語教育学会

6.3. 退会および除籍について

退会を希望される方は、当該年度までの会費を全て納入した上で、学会サイトの「Web版会員名簿・変更手続き」（https://a-youme.jp/jacle/member2/login_do.php）にログインして退会手続きを取っていただきますようお願いいたします。

なお、会則第5条に基づき除籍になった会員は氏名が会報に掲載されますのでご注意ください（会報は学会Webサイトで公開）。退会届が受理された場合、退会者の氏名は掲載いたしません。

6.4. 登録情報の変更について

学会登録情報（住所・所属・メールアドレス等）の変更を希望される方は、年会費の払込取扱票に変更内容を記載なさらず、学会サイトの「Web版会員名簿・変更手続き」にログインして、ご自身で変更していただきますようお願いいたします。

6.5. 住所不明の会員（敬称略）

下記の会員が住所不明で学会からの郵便物が返送されてきています。連絡先をご存知の方はあゆみコーポレーション内の事務局事務代行（support@jacle.org）までご連絡ください。

靳衛衛、張宏波、孫德坤、王維亭、周錦樟、田村新、小笠原恵子、神谷まり子、三枝茂人、韓雲冬、筒井紀美、王慧琴、張筱平、簡靖倫、王玉、郝静、越山拓馬、孫秀雲、小島良佳、孫日環、李怡寧、張金蘭、王蓓淳

6.6. 第19回（2021年度）全国大会について（続報）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催日時が未定であった第19回（2021年度）全国大会について、2021年6月5日（土）、6日（日）に開催できる見通しが立った旨、8月末日に大会準備委員会の中村俊弘委員長より事務局（会長）宛てに報告がありました。

資料 1 2019年度会計決算書

中国語教育学会 2019 年度会計決算書

	収入		支出	
	2019 年度予算	2019 年度決算	2019 年度予算	2019 年度決算
会費	¥2,400,000	¥2,335,000		
事務委託費(郵送費を 含む)			¥1,100,000	¥987,303
事務費(事務局)			¥60,000	¥32,680
郵送費(事務局)			¥15,000	¥5,099
振込手数料			¥10,000	¥12,414
会議費			¥50,000	¥31,150
旅費			¥400,000	¥421,653
全国大会開催費		¥122,546※1	¥500,000	¥500,000
研究会等開催費			¥100,000	¥0
会誌編集印刷費			¥650,000	¥486,750
会誌売上	¥50,000	¥78,000		
幹事手当			¥330,000	¥330,000
利子		¥42		
小計	¥2,450,000	¥2,535,588	¥3,215,000	¥2,807,049
前年度繰越金	¥5,960,886	¥5,960,886		
予備費/次年度繰越金			¥5,195,866	¥5,689,425
合計	¥8,410,886	¥8,496,474	¥8,410,866	¥8,496,474

※1 第17回全国大会の余剰金返金分。

監査の結果、経理内容は適切であり、会計諸表は的確に処理されていることを認めます。

2020年 4月 21日

2019年度会計監査

2019年度会計監査

白銀 志栄

山田 忠司



資料 2 2020年度予算案

	収入	支出
前年度繰越金	5,689,425	
会費	2,400,000	
事務委託費(郵送費を含む)		700,000
事務費(事務局)		60,000
郵送費(事務局)		25,000
振込手数料		15,000
会議費		50,000
旅費		300,000
全国大会開催費		150,000
研究会等開催費		100,000
著作権規定検討委員会活動費		150,000
会誌編集印刷費		650,000
会誌売上	50,000	
幹事手当		300,000
小計		2,500,000
予備費/次年度繰越金		5,639,425
合計	8,139,425	8,139,425